

大阪公立大学イノベーションアカデミー共創研究拠点（スマートエネルギー棟）
 整備事業に係るステージバックディスプレイ及び音響設備調達業務
 公募型プロポーザル審査基準兼配点表【書類審査基準】

No.	評価項目・配点					
1	業務実績：オープンスペースへ納入した同種案件数					10点
	9～10件	7～8件	5～6件	4件以下	200人以上が使用するスペースへ納入した案件がある場合、2点追加	
	8点	6点	4点	2点	+2点	
2	過去の実績から、本件の仕様書等の趣旨に沿った提案を期待できるか。					20点
	極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分	
	20点	15点	10点	7点	3点	
合計						30点

選定方法

- 書類審査は、資格審査通過者が6者を超えた（7者以上）場合に実施する。
- 合計得点が高い上位6者のみが、プレゼンテーションへの参加要件を満たす。
- 上記2において合計得点と同じ場合は、評価項目「過去の実績から、本件の仕様書等の趣旨に沿った提案を期待できるか。」の得点が高い者を選定する。
- 上記3において得点と同じ場合は、くじにて決定する。

大阪公立大学イノベーションアカデミー共創研究拠点（スマートエネルギー棟）
 整備事業に係るステージバックディスプレイ及び音響設備調達業務
 公募型プロポーザル審査基準兼配点表【プレゼンテーション審査基準】

No.	評価項目	細目	配点 (満点)
1	業務実績	(1) 同種又は類似業務の十分な実績があるか。	5点
2	体制・工程管理等	(1) 本業務を確実に実施できる体制、工程、全体スケジュールとなっているか。	5点
3	企画力、実現性に関すること	(1) 地域中核拠点として産学官民共創を推進する本施設の事業内容を理解し、設計、整備コンセプトに沿った企画提案となっているか。 (2) 企画提案のコンセプト、企画提案でアピールしたいことが効果的な内容の提案となっているか。 (3) 企画の実現性が明確となっているか。	10点
4	機能性・デザインについて	用途に相応しい機能を有しているか。 ・ハイブリットでイベントを行う際に一体感のある空間となっているか。 ・大学内のリビングラボと連動し、インタラクティブなコミュニケーションが行えるか。 ・原寸大表示など、臨場感を高める工夫がされているか。	15点
		耐久性及び安全性が担保されており、使用者が安全に使用できるか。	5点
		導入後のアフターフォロー体制が確立されているか。	5点
		消費電力を抑える工夫がされているか。	5点
		高いデザイン性を有しているか。	10点
		新規性に富んでいるか。	10点
		仕様書にない項目で、特に評価すべき創意、工夫が見られるか。	10点
5	参考見積額に関すること	(1) 予算範囲内で最大の効果が得られる提案であるか。 (2) 提案内容と費用のバランスが取れているか。	10点

6	プレゼンテーション	(1) 本業務に対する強い意欲が見られるか。 (2) 提案内容を分かりやすく説明しているか。 (3) 知識・経験に裏付けられた説得力があるか。 (4) 今後の調整において必要な対話力を有しているか。	10点
合計			100点

※本学が定める一定基準（配点合計点の6割）を満たさないと審査委員会（受託者選定委員会）で判断した企画提案参加者は失格とする。いずれの提案も一定基準（配点合計点の6割）を満たさない場合、再度募集を行うものとする。